

**全国**どこでも**発生する可能性**があり、**警戒が必要**です！！

高病原性**鳥インフルエンザ**

## 今シーズン飛来している渡り鳥の数

- ✓ 環境省が行っている**渡り鳥の飛来状況調査**（全国52カ所）によれば、**例年と同程度の飛来数**
- ✓ 鹿児島県出水市で行われている**ツルの飛来数調査**では**過去最高を記録**したと報道されるなど、**地域や種類によっては渡り鳥の数が例年より多い**と考えられます。



### ○出水市のツル飛来数調査

- ・今シーズン過去最高を記録
- 2020年；17,315羽
- 2019年；15,529羽
- 2018年；14,286羽

## ウイルスを保有している渡り鳥の割合

- ✓ **専門家の意見**（複数）

- ①**ウイルス保有の渡り鳥が多い可能性**
- ②国内の**野鳥間で拡がった可能性**が考えられるが、環境中の**ウイルス濃度は上昇**している。



## 野外に多量のウイルスがあちこちに

○北海道から鹿児島まで**全国各地の野鳥**（糞便含む）で**検出**（18道県58事例）

○**渡り鳥だけでなく、猛きん類（食物連鎖の頂点）**でも**検出**（8道県12事例）

オオタカ（奈良県）、オジロワシ（北海道）、ノスリ（栃木県、富山県、香川県、鹿児島県）、ハヤブサ（北海道、栃木県、岡山県）、フクロウ（栃木県、埼玉県）

○**鳥だけでなく、環境中の水**でも**検出**（4県19事例）

新潟県（阿賀野市瓢湖）、長野県（岡谷市諏訪湖）、鳥取県（気高町日光）、鹿児島県（出水市ツルのねぐら）



**MAFF**

（2021年3月15日現在）**農林水産省**